

学校教育目標「志をもち、自ら学び、共に高め合い、たくましく生き抜く生徒の育成」に込めた思い

「志定まれば、気盛んなり」

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。」

吉田松陰

1 志をもち

中学校生活の3年間(義務教育9年間)の中で子どもたち一人ひとりが自分自身の将来について考え、自分になりたいものを見つけることが一番大切だと思います。

「志」「夢」「目標」など言い方はいろいろありますが、自分自身がどうありたいのかを考え、なりたい自分に向かって努力することが生きる上でのエネルギーになります。志は何でも構いません。大切なことは常に志を持ち続けることです。

2 自ら学び

志をもつことができれば、自然に自分から学ぶようになります。「将来このような仕事につきたいから」「この高校に行きたいから」と目標が定まれば、その実現に向けて自然に自分から学ぶようになります。これは勉強だけではありません。スポーツや習い事でも、「もっと上手になりたい」と思えば自然に自ら学ぶようになります。小学校段階では大人からの指示で行動することが多いと思いますが、「言われるからする」という段階から、「自分で必要だと思うからする」になります。ぜひ、中学校3年間で「他律から自律」へ成長してほしいと思っています。

3 共に高め合い

人間は社会の中で生きていく生き物です。社会の中では、いろいろな価値観や考え方をもっている人がいます。そういう自分の周りと共に共存共栄していくことが求められます。つまり、周りの人とコミュニケーションを取りながら、より良い人間関係を構築していくことが人としてもっとも大切な資質・能力になります。最も重要なのは「相手のことを思いやる心」だと思います。そのためには第1にこういうことをしたら(言ったら)相手はどう思うだろうということを考えることが大切になります。第2に相手が嫌がることはしない、言わないと自分自身で判断して行動することです。それを心がけることでお互いに関わり合いながら共に高め合う集団はできると思います。最初は失敗することもあるでしょう。しかし、その中で学びながら、自分自身を成長させてほしいと思います。

4 逞しく生きぬく

私たちが生きていく人生は、決して平坦なものではありません。楽しいときもあれば、苦しいときもあります。でも、そのすべてが自分自身を成長させてくれるものになります。困難と向き合い、それに立ち向かうことが大切だと思います。大変なことを克服できたことが自分自身の大きな自信となり、さらに自分を成長させてくれます。勉強でわからないから、スポーツでできないからあきらめるのではなく、自分で努力をして今までできなかったことができるようになることが成長だと思います。ただし、一人では立ち向かえないことも当然あります。「いじめや暴力」などは一人で立ち向かう必要はありません。なぜなら、それはどんな理由があれ、あってはいけないこと、許されないことだからです。そういう場合はすぐに周りに相談をしてください。